株式会社 松屋フーズ
〒180-0006 東京都武蔵野市中町一丁目14番5号
TEL：0422(38)1121(代)
http://www.matsuyafoods.co.jp/

郵便はがき

1 8 0 0 8 7 9 0

料金受取人払郵便

武蔵野支店承認
9227

差出有効期間
平成20年6月
30日まで有効

切手不要

（受取人）
東京都武蔵野市中町1-14-5
株式会社松屋フーズ 総務人事部 行

（キリトリ）

個人情報保護のため氏名はご記入いただかなくて結構です。

住所	（都道府県名） （都・道・府・県）
性別	男 ・ 女
年齢	20代未満、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上
職業	会社員、会社経営者・自営業、官公庁・団体職員、専門職、主婦、無職、その他
株式投資歴	3年未満、3年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上

該当する項目に○をお付けください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	当社の公告は電子公告により行います。 ホームページアドレス http://www.matsuyafoods.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先 電話照会先）	〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（住所変更等用紙のご請求）	0120-175-417
（その他のご照会）	0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 9887

いいかぶ 検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細 http://www.a2media.co.jp）※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」
TEL：03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL：info@e-kabunushi.com

PRINTED WITH SOY INK

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

株式会社 松屋フーズ

松屋

Interim Report 2007

第33期 中間報告書

2007年4月1日から2007年9月30日まで

［写真左上より（時計回り）］
●「松屋」武蔵境南口店
●デミたまハンバーグ定食
●「すし松」三鷹店
●牛めし

「店の姿こそが会社の真価」の原点に立ち返り、業績低迷からのV字回復に向けて業務に邁進してまいります。

代表取締役社長
瓦葺（かわらぶき） 利夫（としお）

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社2008年3月期中間期（以下、当中間期）の概況をご報告申し上げます。

HIGHLIGHTS［単体決算ベース］

売上高 29,767 百万円

既存店の売上高が前年同期比99.8%と前年を若干下回ったものの、新規出店が寄与し、前年同期比103.0%の増収となった。

経常利益 697 百万円

主要食材の価格高止まり傾向や食材の見直し、パート・アルバイトの時給上昇の結果、F/Lコスト〔Food（売上原価）とLabor（人件費）に係るコストの合計〕の売上高比率は前年同期比0.6ポイント上昇の66.3%となったものの、その他経費削減努力をしてきた結果、経常利益は前年同期比167百万円増の697百万円となった。

中間純利益 111 百万円

上記の結果、2008年3月中間期の中間純利益は、111百万円となった。

業績の推移

Q 当中間期の業績はいかがでしたか？

A 外食業界におきましては、食材価格の高騰や食の安全・安心に対する消費者意識の高まりにより、各企業の取り組み姿勢が厳しく問われる状況へと変化する中、業界を超えた競争激化に拍車がかかっており、経営環境は一層厳しさを増しております。

当社におきましては今期V字回復策といたしまして「既存店強化に傾注する」という方針のもと、商品政策面では、「美味追求」シリーズと題し、さらにおいしい商品をお客様に提供するために既存商品の品質向上のための見直しを実施し、人件費・不動産費用等全体の物価上昇への対応としましては、価格の見直しを実施してまいりました。特に、主力商品である「牛めし」につきましては日々研究に研究を重ね、いつでも、どこの店舗で食べてもおいしい「牛めし」をご提供していきたいと考えております。また、食の安全・安心に対する意識の高まりに対応するため、主要食材の産地見直しを実施いたしました。

その結果、総売上高については、既存店売上が前年同期比99.8%となったものの、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したことにより、29,767百万円と前年同期比103.0%の増収となりました。

次に、当社において重視すべき指標と認識しております F/Lコスト〔Food（売上原価）とLabor（人件費）に係るコストの合計〕ですが、まず、売上原価につきましては、原価率が前年同期の32.9%から33.3%となりました。これは主要な食材価格の高止まり傾向が続いていることや、「美味追求」のテーマのもと、使用食材の変更による質の向上等に取り組んだ結果、食材の仕入れ価格が上昇したことによるものであります。

人件費につきましては、景気回復の影響を受け、店舗におけるアルバイト・パートの平均時給が上昇したことにより、人件費比率が前年同期32.7%から33.0%となりました。また、経費削減策の一環といたしましては、不採算店の閉鎖や遊休スペースの活用などを検討し、実施してまいりました。

以上の結果、F/Lコスト比率は前年同期比0.6ポイント上昇したものの、売上高が増収であったことやその他経費削減効果により、経常利益は前年同期比167百万円増の697百万円、中間純利益は前年同期比210百万円増の111百万円となりました。

改装後の「松屋」鶴見東口店

牛めしのポスター

Q 食品廃棄物リサイクルの取り組みについて教えてください。

A 2006年2月より業界初となる、自社トラックによる生ゴミの回収を東京都内270店舗を対象に実施いたしました。回収した生ゴミは、セントラルキッチンである嵐山工場の敷地内の圧縮乾燥処理施設で肥飼料原料に処理しリサイクルを行っております。この取り組みにより食品リサイクル法の目標値であるリサイクル率20%は、東京都内の270店舗のみの取り組みで既に達成しております。さらに、嵐山工場から排出される生ゴミのほとんどと富士山工場から排出される生ゴミ100%をリサイクルしており、2006年度は全社で69.9%のリサイクル率を達成し

ております。現在は自社トラックによる生ゴミの回収店舗を334店舗に拡大しております。

松屋が取り組む3つのR

環境への取り組みとして松屋では3つのRに取り組んでおります。3つのRとは、ゴミをなるべく出さないリデュース、物を捨てずに繰り返し使うリユース、そしてゴミを再生して別の物として再利用するリサイクルです。松屋が取り組む3つのRをご紹介いたします。

リデュース：食材等の包装簡略化による包装資材の削減、キャベツ等の食材の歩留まり率向上への取り組みによる生ゴミの削減

リユース：店舗備品・消耗品の再利用と洗剤容器・消毒用アルコール容器の再利用
※再利用により2006年度は廃プラスチックを約22t削減

リサイクル：店舗・工場から排出される生ゴミの肥飼料化、廃プラスチック、紙屑の廃棄物固形燃料化、廃油のリサイクル、古くなったユニフォームの繊維を使い店舗で使用するモップへの再生利用

Q 安全・安心に対する取り組みについてお聞かせください。

A 『食の安全に関する取り組み』はフードビジネスの根幹であります。当社では、すべてのお客様が『いつでも・安心して』お食事をお楽しみいただけるように、徹底した品質・安全管理体制を確立しております。食材の生産から店舗に届くまでの生産履歴を把握するトレーサビリティーシステムの構築も積極的に推進しております。また、主要食材の原産地や特定原材料（アレルギー物質）の情報につきましては当社ホームページにてお知らせしております。

提携農家 生産者 渡辺さん

さらに輸入食材についても、世界的に見てもきわめて厳格と言われる日本のポジティブリストについての検査を自主的に行い、安全を確認してから購入しております。また、品質マネジメントシステムであるISO9001の運用の徹底と継続的改善に努めるほか、ISO14001認証取得企業として地球環境および地球環境の保全に配慮した企業活動を推進してまいります。

Q 新業態を含めた店舗戦略について教えてください。

A 当期の店舗戦略といたしましては、収益が確実に見込める既存店に注力するため改装店舗を増加し、新店については売上・収益が確実に見込めるところに厳選して出店していくことを方針としております。しかしながら、競争が激化している外食企業において、当社が持続的に成長していくためには、新業態も含めた新規出店が必要不可欠であると考えております。そこで、店舗を出店する際には大変な時間と労力を要しますが、下期から来期以降については、既存店強化策を継続的に実施する一方で、新規出店も増やしていきたいと考えており、今から準備に着手しております。

新業態については、「とんかつ」業態、「鮨」業態ともに収益化体質へのフォーマット作りに着手しており、今までの傾向から「松屋」業態と隣接していてもお互いに切磋琢磨することにより共存することが可能であるということから、松屋フーズグループ全体としてのシナジー効果が得られると考えており、こちらも下期から来期以降にかけて新規出店を増やしていきたいと考えております。

「松八」三鷹店

Q 下期および通期の展望についてお聞かせください。

A 「既存店強化に傾注する」という当期の方針を継続してまいります。商品政策面では「美味追求」をコンセプトとし、お客様にとって価値ある商品を適正価格にてご提供させていただきたいと思っております。また設備面におきましては、新規出店を抑え既存店改装を引き続き実施し、お客様に気持ちよくお食事をしていただけ、さらに、従業員が効率よく、気持ちのよいサービスをお客様にご提供できる店舗へとモデルチェンジしてまいります。

改装後の「松屋」市川店

販売促進策につきましては、今までのやり方に固執することなく、お客様にお得感を持っていただけるような施策を実施してまいりたいと思っております。

また、食品を取り扱う企業の相次ぐ不祥事も出てきておりますので、当社はコンプライアンスをしっかりと守りながら、業績のV字回復に向けて邁進してまいります。

株主の皆様方におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

「牛めし」業態に続く、第2、第3の柱となるべく、業態開発に着手しております。お近くにお寄りの際は、是非一度お試しください。

コラム 1 とんかつ業態　新メニュー続々登場！

現在、「チキン亭」3店舗、「松八」7店舗、「松乃家」1店舗、合計11店舗で運営しております。「チキン亭」・「松八」のコンセプトは、リーズナブルな価格で気軽に食べられるとんかつ店を目指しており、「松乃家」は黒豚を使用したトライアル店舗と位置づけております。店内には、カウンター席とBOX席を用意し、女性やご家族連れのお客様にもゆったりとお食事していただけるようになっております。

コラム 2 鮨業態　問題点を一つずつ改善し、フォーマット確立に向けて奮闘中！

現在、回転鮨10店舗、立ち鮨3店舗、合計13店舗で運営しております。
とんかつ業態同様、改善すべき点が多数ある業態と見ております。問題を一つずつクリアしていきながら、早く収益路線に乗せて鮨業態フォーマットを確立していきたいと思っております。上期に1店舗、下期に1店舗新規出店しており、今後も様々なコンセプトの店舗を実験していきながら、拡大に向けて慎重に進めてまいりたいと思っております。

松屋のメニュー展開

2007年4月から2007年9月に登場した、松屋の新メニュー&キャンペーン

美味追求。豚肉定食メニュー

2007年4月15日(日)発売

「豚焼肉定食」・「豚生姜焼定食」・「肉野菜炒め定食」の肉質がグレードアップ。全国の松屋で発売！

彩りキムチ豚めし

2007年5月17日(木)発売

ニンジン、玉ねぎ、なめこ、にんにくの芽を特製のタレに漬け込み、キムチと一緒にトッピング。彩り鮮やかに新登場！

黒酢なめこハンバーグ定食

2007年5月24日(木)発売

黒酢入りの特製ソースとツルッとした食感のなめこ。新しい組み合わせのメニューが新発売！

牛めし 50円引き

2007年6月19日(火)～6月26日(火)

日頃のご愛顧に感謝を込めた感謝祭第１弾！タレの味を一新し、さらにおいしくなった「牛めし」を50円引きで販売！

月見とろろ牛皿定食

2007年6月29日(金)～8月31日(金)

牛皿に生玉子、そして冷たいとろろで涼しさ誘う。暑い季節にぴったりの夏メニュー。

オリジナルカレーライス50円引き

2007年7月12日(木)～7月19日(木)

具だくさんでさらにおいしい「オリジナルカレーライス」。感謝祭第２弾として50円引きで販売！

カレギュウ

2007年7月19日(木)発売

松屋の復刻メニュー第１弾！牛めしとカレーが一皿で楽しめる人気メニューが再登場！

ビーフリッチカレー

2007年7月19日(木)発売

ビーフの味わいも豊かに、大きな具材がたっぷり入った贅沢な一品。是非お試しください。

キムカル丼

2007年8月9日(木)発売

ジューシーなカルビに相性バッチリのキムチをトッピング。大人気だった伝説のメニューが復活！

うまトマハンバーグ定食

2007年8月23日(木)発売

ジューシーなハンバーグにさっぱりとしたトマトの風味豊かなソースがたっぷり。復刻メニュー第３弾！

豚めし(デンマーク産豚肉使用)

2007年9月14日(金)発売

よりおいしい「豚めし」をご提供するために、デンマーク産豚肉を使用。新しくなった「豚めし」をご賞味ください。

マーボ豆腐定食

2007年9月20日(木)発売

食欲そそる山椒の香りとクセになるピリ辛味。「マーボ豆腐定食」がおいしくなって再登場！

新米フェア

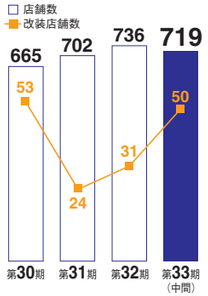
2007年9月20日(木)～9月27日(木)

マーボ豆腐定食をご注文のお客様に限り、期間限定で今が旬の新米ライス大盛を無料でサービス！

当中間期は、6店舗の新規出店。既存店50店舗の改装。

当中間期においては、鮨業態の「すし松」三鷹店（東京都）をはじめ、合計6店舗を新規に出店した結果（退店23店舗）、2007年9月末日現在の総店舗数は719店舗（うちFC9店舗）となりました。さらには既存店50店舗の改装（全面改装10店舗、一部改装40店舗）も実施いたしました。

店舗数の推移



全国 **719**店

うちビルイン店舗508店舗
ロードサイド店舗211店舗
※海外7店舗を除く

連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 2007年9月30日現在	前中間期 2006年9月30日現在	前期 2007年3月31日現在
資産の部			
流動資産	9,982	9,228	10,162
固定資産	38,092	40,667	39,154
有形固定資産	22,905	23,964	23,683
無形固定資産	490	1,320	522
投資その他の資産	14,695	15,381	14,948
資産合計	48,074	49,895	49,317
負債の部			
流動負債	8,813	8,435	8,811
固定負債	11,145	12,001	12,247
負債合計	19,959	20,437	21,059
純資産の部			
株主資本	28,123	29,483	28,269
資本金	6,655	6,655	6,655
資本剰余金	6,963	6,963	6,963
利益剰余金	14,514	15,873	14,660
自己株式	△10	△9	△10
評価・換算差額等	△8	△25	△12
その他有価証券評価差額金	△0	△0	△0
為替換算調整勘定	△8	△25	△12
純資産合計	28,114	29,457	28,257
負債・純資産合計	48,074	49,895	49,317

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 2007年4月1日から2007年9月30日まで	前中間期 2006年4月1日から2006年9月30日まで	前期 2006年4月1日から2007年3月31日まで
売上高	30,263	29,446	60,742
売上原価	10,065	9,653	20,111
売上総利益	20,198	19,793	40,630
販売費及び一般管理費	19,432	19,114	38,824
営業利益	765	678	1,806
営業外収益	168	156	352
営業外費用	216	236	439
経常利益	717	598	1,719
特別利益	75	10	227
特別損失	438	494	2,115
税金等調整前中間純利益又は当期純損失(△)	353	115	△168
法人税、住民税及び事業税	190	205	733
法人税等調整額	61	△13	140
中間純利益又は中間(当期)純損失(△)	101	△76	△1,042

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 2007年4月1日から2007年9月30日まで	前中間期 2006年4月1日から2006年9月30日まで	前期 2006年4月1日から2007年3月31日まで
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,107	786	4,118
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△681	△2,966	△5,241
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,345	△309	△172
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△1	1
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	82	△2,491	△1,293
Ⅵ 現金及び現金同等物期首残高	3,527	4,820	4,820
Ⅶ 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,610	2,329	3,527

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間連結株主資本等変動計算書（要旨）

当中間連結会計期間（2007年4月1日から2007年9月30日まで）

（単位：百万円）

科目	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
2007年3月31日残高	6,655	6,963	14,660	△10	28,269	△0	△12	△12	28,257
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△247		△247				△247
中間純利益			101		101				101
自己株式の取得				△0	△0				△0
自己株式の処分			△0	0	0				0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△0	3	3	3
中間連結会計期間中の変動額合計	–	–	△145	△0	△146	△0	3	3	△142
2007年9月30日残高	6,655	6,963	14,514	△10	28,123	△0	△8	△8	28,114

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

単体財務諸表

中間貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 2007年9月30日現在	前中間期 2006年9月30日現在	前期 2007年3月31日現在
資産の部			
流動資産	9,406	8,275	9,589
固定資産	38,379	41,285	39,485
資産合計	47,786	49,561	49,074
負債の部			
流動負債	8,514	8,172	8,570
固定負債	11,103	11,929	12,198
負債合計	19,618	20,101	20,769
純資産の部			
株主資本	28,168	29,459	28,305
資本金	6,655	6,655	6,655
資本剰余金	6,963	6,963	6,963
利益剰余金	14,560	15,850	14,696
自己株式	△10	△9	△10
評価・換算差額等	△0	△0	△0
その他有価証券評価差額金	△0	△0	△0
純資産合計	28,168	29,459	28,305
負債・純資産合計	47,786	49,561	49,074

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 2007年4月1日から2007年9月30日まで	前中間期 2006年4月1日から2006年9月30日まで	前期 2006年4月1日から2007年3月31日まで
売上高	29,767	28,908	59,744
売上原価	9,919	9,518	19,836
売上総利益	19,848	19,389	39,908
販売費及び一般管理費	19,225	18,847	38,337
営業利益	622	541	1,570
営業外収益	295	252	832
営業外費用	220	264	488
経常利益	697	530	1,914
特別利益	73	18	220
特別損失	453	528	2,430
税引前中間純利益又は当期純損失(△)	316	19	△294
法人税、住民税及び事業税	132	114	570
法人税等調整額	73	4	139
中間純利益又は中間(当期)純損失(△)	111	△99	△1,005

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間株主資本等変動計算書（要旨）

当中間会計期間（2007年4月1日から2007年9月30日まで）

（単位：百万円）

科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
2007年3月31日残高	6,655	6,963	14,696	△10	28,305	△0	△0	28,305
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△247		△247			△247
建物圧縮積立金の取崩し			–		–			–
別途積立金の取崩し			–		–			–
中間純利益			111		111			111
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分			△0	0	0			0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						△0	△0	△0
中間会計期間中の変動額合計	–	–	△136	△0	△137	△0	△0	△137
2007年9月30日残高	6,655	6,963	14,560	△10	28,168	△0	△0	28,168

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

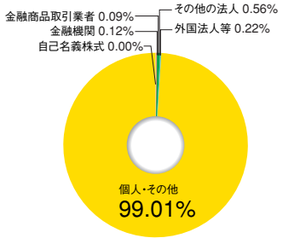
●株式の状況（2007年9月30日現在）

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式総数	19,063,968株
株主数	29,367名

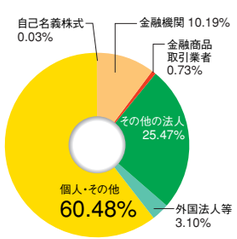
●大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況 持株数（株）	当社への出資状況 出資比率（%）
瓦葺利夫	4,443,200	23.31%
有限会社ティケイケイ	2,729,441	14.32%
有限会社トゥイール	2,000,000	10.49%
瓦葺一利	753,500	3.95%
瓦葺香	649,372	3.41%
商工組合中央金庫	518,400	2.72%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口）	311,000	1.63%
松屋社員持株会	237,889	1.25%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	218,300	1.15%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	158,100	0.83%

●所有者別状況（株主数）



●所有者別状況（株式数）



●会社概要（2007年9月30日現在）

設立	1980年1月16日
資本金	6,655,932千円
代表取締役社長	瓦葺利夫
従業員数	1,228名
売上高	597億円（第32期実績）
本社	東京都武蔵野市中町一丁目14番5号
工場	嵐山：埼玉県比企郡嵐山町花見台4番地3号 富士山：静岡県富士宮市大字北山字峯4242番地4号
店舗	719店（直営710店、FC9店） ※海外7店舗を除く
事業内容	・牛めし定食事業 ・とんかつ事業、鮨事業、ラーメン事業　ほか ・フランチャイズ加盟店への食材等の販売および経営指導

●役員一覧（2007年9月30日現在）

代表取締役社長	瓦葺利夫（かわらぶき としお）
専務取締役	緑川源治（みどりかわ げんじ）
専務取締役	小松崎克弘（こまつざき かつひろ）
取締役	桜島茂雄（さくらじま しげお）
取締役	佐藤雅敏（さとう まさとし）
取締役	斎藤道夫（さいとう みちお）
取締役	薄井芳人（うすい よしと）
常勤監査役	斉木兼芳（さいき かねよし）
監査役	藤ノ木清（ふじのき きよし）
監査役	山本宏（やまもと ひろし）

グループ会社紹介

（株）エム・テイ・テイ
店舗の総合メンテナンス、厨房機器等販売、店舗の建設施工管理、給排水工事

（株）エム・エル・エス
クリーニング事業およびリサイクル事業、廃棄物回収事業

（株）エム・ビー・アイ
採用・人事関連業務および事務集中処理業務（シェアードサービス）

（株）エム・エム・シー・エー
教育研修業務および教育ツール等販売、能力認定試験企画運営、店舗等監査

（株）松屋ファーム
農業および農業の代行・受託

青島松屋快餐有限公司
中華人民共和国における飲食店舗運営、地場企業の技術指導、各種業務受託

Matsuya Foods USA,Inc.
米国における持ち株会社。グループの企画・マネジメント業務

Matsuya International,Inc.
米国における食材の仕入・加工・販売

Matsuya New York,Inc.
米国における飲食店舗の運営

※1. Yonehama International,inc.は平成19年6月に清算いたしました。
※2.（株）松屋ファームと青島松屋快餐有限公司は、非連結子会社で持分法非適用会社。

Q 未使用の優待券10枚を、製品詰め合わせセットへ引き換えるには？

A 未使用の優待券10枚を、下記郵送先にご返送ください。（有効期限当日消印迄有効）
※ 封筒や郵送料は株主様ご負担となります。
※ 有効期限内の未使用ご優待券10枚が揃っていることをお確かめの上、ご送付ください。
なお、お届け時期は原則優待券が弊社に届いた月の翌月中旬頃となります。

Q 製品詰め合わせセットとはどのようなものですか？

A お店の味がご家庭でも簡単にお楽しみいただける冷凍個食パックのセットです。内容は「国産牛めしの具×4パック、豚めしの具×3パック、スパイシーチキンカレーの具×3パック」の計10パック・1セットを予定しております。
※ セット内容の変更はいたしかねますのでご了承ください。

Q ふだん個食パックはどこで買えるの？

A 冷凍個食パックは、約470店舗の松屋で好評発売中！
その他、松屋のホームページ「松屋オンラインショップ」からもお買い求めいただけます。
http://www.matsuyafoods.co.jp/
さらにお電話でも簡単にご注文いただけます。
フリーダイヤル0120-127-230
（携帯電話からもご利用いただけます。）
（受付時間：年末年始除く10時～18時）
ますます身近になった当社冷凍個食パックを是非一度ご賞味くださいませ！

（郵送先・お問い合わせ先）
〒180-0006
東京都武蔵野市
中町一丁目14番5号
総務人事部「優待引換」係
TEL：0422-38-1121
受付時間　9：00～17：00（土・日・祝日を除く）

優待券の詳しいご使用方法については、弊社ホームページをご参照していただくか、上記お問い合わせ先までご連絡ください。

【アンケートに関するお願い】
当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函ください。ご協力お願いいたします。

株主の皆様へアンケートのお願い

1. 当社株式をどの位の期間保有されていますか。
a. 10年以上　b. 7年～10年　c. 5年～7年　d. 3年～5年
e. 1年～3年　f. 1年未満

2. 今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか。
a. 売却　b. 長期保有　c. 買い増し
また、上記方針を決定するための判断材料は何ですか。（複数回答可）
a. 株価　b. 配当　c. 将来計画　d. 業績
e. その他（　　）

3. IR情報の提供手段としてどのようなものを希望されますか。
a. 株主通信　b. 投資家説明会　c. インターネットホームページ
d. IR広告　e. その他（　　）

4. 今回の中間報告書で、興味を持っていただいた内容は何ですか。
a. 社長インタビュー　b. 新メニュー&キャンペーン　c. 事業戦略（店舗展開）
d. 財務諸表　e. その他（　　）

5. 巻頭の社長インタビューの中で、興味を持っていただいた内容は何ですか。
a. 当中間期の業績について　b. 食品廃棄物リサイクルの取り組みについて
c. 松屋が取り組む3つのR　d. 安全・安心に対する取り組みについて
e. 新業態を含めた店舗戦略について　f. 今後の見通しについて
g. 特にない　h. その他、ご意見・ご要望をお聞かせください。
（　　）

6. 当社の今後の経営課題について、重要だと思われるものは何ですか。（複数回答可）
a. 商品開発　b. 販売促進（キャンペーン）　c. 価格政策
d. 店舗展開　e. 業態の多様化　f. M&A　g. 食の安全・安心の取り組み
h. 環境問題対策　i. CSRの取り組み（企業の社会的責任）
j. その他、ご意見・ご要望をお聞かせください。
（　　）

（キリトリ）

ご協力有難うございました。